

一定せんとするのほ、宇道各地別々に行はれて居た。宣傳を統一し大々的に是れを行ひ、以て其の効果を大々しきんが爲めに外にはないのである。

△方法

一年に宣傳日は二回行ふ。日数は二日間、其の日は中央委員會に於て決定し、各地の聯合會に通告する。

此の時は総同盟の機関紙——針山版、周車版、周西版——を宣傳号にして、なるべく労働組合に未だ組織されて居らぬ一般の労働者に組合組織の必要を痛感せしめるやうな記事を満載する。更に此の宣傳号は其の編輯に充分な注意を拂ふ事が必要である。

但し此の宣傳号は單に外部に對する宣傳にのみ使用するのではなくて、組合員には機關紙として常の如く配布する。故に特別に宣傳号のやうな定期発行以外に刷る必要はない。

是れは才一に經費の關係上、第二には組合員に宣傳的方面の智識を興ふるために必要である。

宣傳号は各聯合會に於て會員數以外の部數——即ち宣傳に使用する分——は實費で買ふ事にする。そして其の賣りなり或は聯合會の費用が許せば無代で配布するなりする。此の時には三ツの機關紙は特種な事情以外の記事は略々内容を同一にする。

一方に於て此の宣傳号を發行すると共に、ビラを配布し本